

## 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について

### 1 目的

長野市歴史的風致維持向上計画（以下「計画」という。）に PDCA サイクルを導入し、計画に位置づけられた方針の達成及び課題の改善の着実な進展を図るもの。

また、歴史まちづくりの地域への効果を把握し、市民への説明責任を果たすとともに、成果をあげた取り組みにおける工夫等の情報を市町村間において共有すること。

### 2 進行管理・評価の概要

計画に位置付けた取り組みについて毎年度「進捗評価」を、計画に記載された方針の達成状況等について計画期間の中間に「中間評価」を、最終年度に「最終評価」を実施する。

評価結果は、長野市歴史的風致維持向上協議会（法定協議会）の確認を受け、国に報告し、ホームページ等により市民に公表する。

#### (1) 進捗評価・・・毎年度実施

##### 施策・事業の進捗状況（アウトプット）の評価【自己評価】

「① 組織体制」「② 重点区域における良好な景観を形成する施策」「③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項」「④ 文化財の保存又は活用に関する事項」「⑤ 効果・影響等に関する報道」「⑥ その他」の評価軸ごとに、施策・事業の進捗状況を評価し、翌年度の取り組みに反映する。

#### (2) 中間評価・最終評価・・・計画期間の中間及び最終年度に実施

##### 歴史的風致の維持向上等の評価【自己評価・外部評価】

「① 計画に基づく方針」「② 波及効果」「③ 代表的な事業の質」「④ 歴史的風致」について評価を実施する。外部有識者（景観審議会委員や地方文化財保護審議会委員等）による評価を受け、今後の歴史まちづくりを進める上での課題や、今後の対応について整理する。

### 3 平成 29 年度以降の進行管理・評価の変更について

#### (1) 評価スパンの変更

平成 28 年度まで 毎年度「進捗評価」、3 年に一度「総括評価」

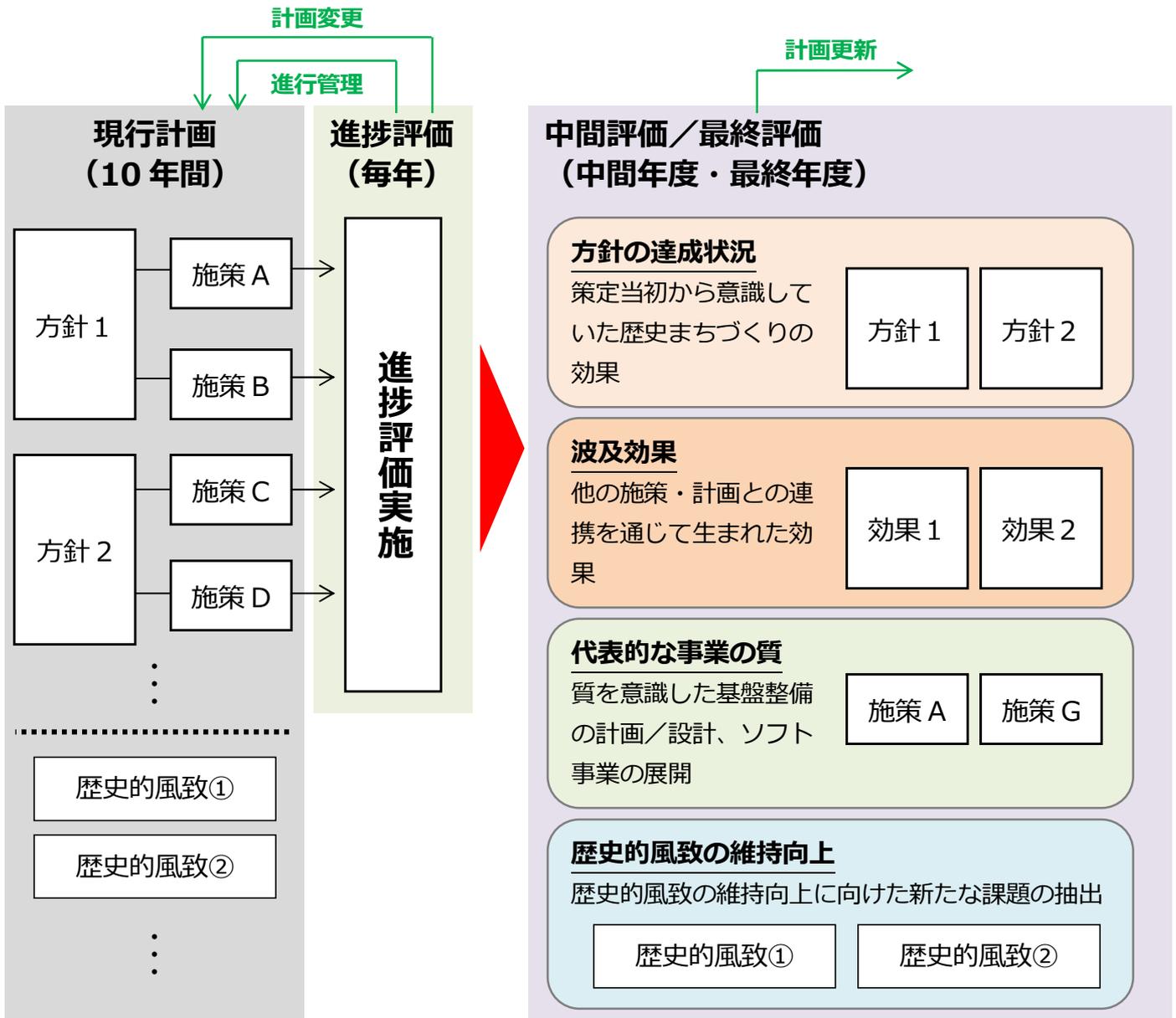
平成 29 年度以降 3～5 年に 1 度程度「中間評価」、最終年度「最終評価」

（本市の場合、中間評価を平成 31 年度、最終評価を平成 34 年度に実施予定）

#### (2) 評価内容の変更

中間評価・最終評価に、まちづくりに関連する他の施策・計画との連携などによる「波及効果」と、計画の根幹である「歴史的風致」の維持向上の状況の評価が加わった。

#### 4 評価の流れ（イメージ）



#### 5 スケジュール

年	月	進 捗 評 価	中間評価・最終評価
H29	7月上旬		「代表的な事業」の選定
	7月中旬～8月上旬		外部評価者（有識者）の選定
	11月下旬	国から評価書式が送付される	
	12月～	評価シート作成	評価シート作成（自己評価及び外部評価）
H30	2月	長野市歴史的風致維持向上協議会での意見聴取	
	4月下旬	国に評価シートを送付	
	7月	評価シートをホームページ上で公表	